



# ぎふ清流国体

輝けはばたけだれもが主役

国体だより **VOL.3** **2012**



●トピックス

「ぎふ清流国体」  
マスコットキャラクター  
『ミナモ』をお披露目しました!!

●会場地を知る  
揖斐川町総務部国体準備室 主幹  
**衣斐 良治**さん

●競技を知る  
岐阜県立岐阜各務野高校女子ホッケー部監督  
岐阜県ホッケー協会副理事長  
**和田 真二**さん

●この人に聞く  
岐阜県立岐阜商業高校 水泳部顧問  
岐阜県水泳連盟常務理事・競泳委員長  
**糸井 統**さん

●プレイバック  
昭和40年岐阜国体の思い出  
国立大学法人 岐阜大学 理事・副学長  
岐阜県スポーツ振興審議会会長  
**古田 善伯**さん

●エンジョイスポーツ  
**ドッジビー**

トピックス

# 「ぎふ清流国体」マスコットキャラクター『ミナモ』をお披露目しました!!

**6**月13日(金)、岐阜シティ・タワー43(岐阜市)において、「ぎふ清流国体」のシンボルとなるマスコットキャラクターのお披露目イベント「みんなで迎えよう! キラ☆キラ☆の妖精」を開催し、『ミナモ』をみなさんにお披露目しました。このイベントで、古田肇知事や田口義嘉壽県体育協会会長、幼稚園児たちに迎えられて、ちょっと照れながら登場した『ミナモ』は、会場の「頑張っ」て」という声援を受けて、元気にPRキャラバンに出発しました。

また、6月13日(金)から15日(日)までの3日間、同じく岐阜シティ・タワー43で開催した「マスコットふれあい広場」では、多くの子どもたちが『ミナモ』のぬり絵やフォトシールを体験したり、年輩の方が昭和40年岐阜国体の写真を懐かしむ姿が見られました。



会場の声援を受けてPRキャラバンに出発する『ミナモ』



若葉第三幼稚園(岐阜市)の園児たちによる祝賀パフォーマンス



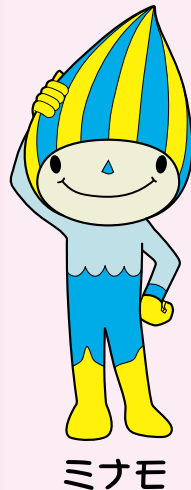
『ミナモ』へメッセージを送る古田肇知事



『ミナモ』にPRグッズを手渡す田口義嘉壽県体育協会会長



マスコットふれあい広場で国体をPRする『ミナモ』



ミナモ

『ミナモ』は、昨年度、職業デザイナーを対象にしたコンペで、応募のあった92作品の中から岐阜市出身のアーティスト日比野克彦さんを委員長とする選定委員会により候補作品として選ばれ、3月18日に開催した第67回国民体育大会岐阜県準備委員会で「ぎふ清流国体」のマスコットに決まりました。

太陽の輝きと美しいさわやかな川の流れる、黄色と水色のしま模様で表現しています。

『ミナモ』は、キラキラした川の水面(みなも)に住んでいるキラキラの妖精です。開催まで4年となった「ぎふ清流国体」に向け、元気いっぱいスポーツと自然が大好きな『ミナモ』が、これから県内各地を回り、子どもからお年寄りまで幅広い層へ国体のPRを行っていきます。初めて人と接するので、まだちょっと照れやさんの『ミナモ』ですが、みなさん、どうぞよろしくお願ひします。

## 会場地を知る リポートタビユール 揖斐川町

揖斐川町総務部国体準備室 主幹

えびよしはる  
**衣斐 良治**さん

母なる清流揖斐川に抱かれて「笑顔いっぱい」の国体になりたい



### ■現在の推進体制や取り組みは?

**衣斐** 3月21日に準備委員会の設立総会を開催し、町が一丸となって進めていく体制が整いました。メンバーは83名です。また、4月から役場内に国体準備室が設置され、4名のスタッフで準備業務に取り組んでいます。町職員によるプロジェクトチームも結成しアイデアを出しあっています。

### ■揖斐川町で開催される競技は?

**衣斐** ソフトボール競技の少年女子と、カヌー競技のスラロームレーシング、ワイルドウォーターレーシングです。ソフトボールは大変人気が高く、町内にはジュニアから65歳以上のハイシニアまで20以上のチームがあり、国体開催に対する期待も高まっています。

### ■ぎふ清流国体の開催気運を盛り上げるために何かお考えですか?

**衣斐** 町民のみなさんに、開催競技をより身



近に感じてもらえるよう、ソフトボールの全国大会や、カヌーの体験教室を開催する予定です。

### ■ぎふ清流国体に向けての抱負は?

**衣斐** 町民が競技に親しみ、選手との交流が持てるような国体を目指します。揖斐川町は、ぎふ清流国体の名前どおり、町の中心に揖斐川が流れ、美しい自然がいっぱいです。自然と共生し、心温まる、揖斐川町らしい国体になるよう、町民総参加で取り組んでいきたいと思っています。

競技を知る

## ホッケー

HOCKEY



経験のなさを補うためには  
多くの練習量が必要。  
これが勝利につながる。

## ■ホッケーのルールは？

**和田**／簡単にいえば、スティックで行うサッカーのようなもので、スティックの片面を使用して、ボールコントロールを行います。1チームは11人で、ゴールキーパー1人とフィールドプレーヤー10人で構成されています。試合時間は、前・後半各35分間でハーフタイムは5分間です。得点は、ゴール前のシューティングサークル内からのシュートだけが得点として認められます。ホッケーでは、2人の審判が各々のハーフ(フィールド)を受け持ち試合の進行にあたりますが、これはホッケーがスピーディで、攻守が一瞬にして入れ替わる競技だからです。

## ■これまでの国体での成績は？

**和田**／岐阜各務野高校(旧：岐阜女子商業高校)女子ホッケー部は、昭和40年の岐阜国体に向けて、昭和38年に創部され、見事、岐阜国体で優勝を果たしました。その後も、平成8年の広島国体から平成

岐阜県立岐阜各務野高校女子ホッケー部監督  
岐阜県ホッケー協会副理事長

**和田 真二**さん

SHINJI WADA

16年の埼玉国体までの9連覇をはじめ、国体での優勝回数は20回を数えます。

## ■勝つために必要なものは？

**和田**／他県では、多くの選手が中学生の時からホッケーを経験していますが、県内では、経験している選手がまだ少ないのが現状です。そのため、多くの練習量が必要となってきます。特に、フィジカルに重点を置いた日々の練習が必要ですが、これにより選手たちのメンタル面も成長していきます。

## ■ホッケーの魅力は？

**和田**／いかにして、シューティングサークル内にボールを持ち込み得点に繋げるか。そのための作戦とボールコントロールです。特に片面しか使えないスティックをフォア、リバースと巧みに持ちかえ、パス、ドリブル、シュートをするプレーヤーのスティックワークの巧妙さが魅力です。

また、攻撃から守備へ、守備から攻撃へと激しく切りかわるスピーディなゲーム展開も魅力の一つです。

## ■注目の選手は？

**和田**／昨年開催された秋田わか杉国体の優勝に貢献した、スピードが持ち味の楠美沙子選手です。

## ■ぎふ清流国体に向けての抱負は？

**和田**／ぎふ清流国体に向けて、身体能力の高い中学生を多く集め、ホッケー選手として育てていきたいです。そして、育てた選手たちが、厳しい練習の成果を存分に発揮し、良い結果を残せる国体になるといいと思います。

岐阜各務野高校3年

FW 楠美沙子さん

昨年の秋田わか杉国体では少年女子に出場し、3年ぶり20度目の優勝の大きな原動力となる。ホッケーとの出会いは、中学1年生の時。「ボールのスピード、そして、パス、ドリブルからシュートまで繋げるのがホッケーの魅力」。今年の目標は、同級生とともに「国体優勝」の感動を味わうこと。ぎふ清流国体では、「開催地のプレッシャーはあるが、成年女子の選手として出場し、ぜひ優勝したい」と目を輝かせながら話す。



この人に聞く

## 国体への想い



目指すは天皇杯獲得。  
競技者として自分が経験してきたことを生かし、1人でも多くの選手を育てていきたい。

岐阜県立岐阜商業高校 水泳部顧問  
岐阜県水泳連盟常務理事・競泳委員長

**糸井 統**さん

## ■水泳を始めたきっかけは？

**糸井**／父親が水泳競技をやっていたため、身近に泳いでいる姿を見て、何気なく泳ぎ始めたのがきっかけです。

## ■沖縄国体に高校1年生の時に出場以来、ほぼ毎年国体に出場されていますが、国体の思い出はありますか？

**糸井**／国体は私にとって夢の大会でした。中学時代、全国レベルの大会では、なかなか勝つことができなかった私が、高校1年生の時、初めて出場した沖縄国体で、初の全国大会入賞となる4位に入ることができました。その時の喜びは今でも覚えていますし、それがあったからこそ、今まで厳しい練習に耐えてこられたと思います。また、指導者兼選手として国体に数多く参加しましたが、成年男子30歳以上の部で、国体5連覇を成し遂げたことも、とてもいい思い出です。

## ■オリンピック選手として、バルセロナ(1992年)およびアトランタ(1996年)に出場し、2大会連続入賞という輝かしい経歴をお持ちですが、今後はどのような指導者になりたいですか？

**糸井**／自分が経験してきたことを生かし、オリンピックに出場できるような選手を1人でも多く指導し、育てていきたいです。

## ■ぎふ清流国体に向けての抱負をお願いします！

**糸井**／天皇杯獲得を目指し、すべての種目(競泳・飛込・シンクロナイズドスイミング・水球)が得点に絡めるよう、選手の育成強化を頑張っていきたいです。また、選手がよい環境の中で練習ができるよう対策を考えなくてはならないと思っています。



フレイバック

◀◀PLAYBACK 思い出  
昭和40年岐阜国体の思い出

国立大学法人 岐阜大学 理事・副学長  
岐阜県スポーツ振興審議会会長  
財団法人 岐阜県体育協会 競技力向上委員長  
第67回国民体育大会岐阜県競技力向上対策本部本部委員会委員

ふるたよしのり  
古田 善伯さん

授業が終わると柔道部の練習。  
弁当を食べて国体強化選手の練習。  
まさに柔道漬けの毎日でした。



後列 左端

昭和40年の岐阜国体の時、私は関  
高校三年生で、柔道競技の高校(少  
年)の部で岐阜県代表として国体  
に出場しましたので、国体の思い出  
深いものがあります。当時の関高校  
柔道部は、鈴木輝雄先生、雑賀正年  
先生のご指導の下13年連続でイン  
ターハイに出場するなど県内最強で  
した。私を含め部員の篠田充弘君、  
上野成夫君、坂田誠有君、横山敏春君が、国体に向けて強化選手に  
指定され、日曜日も休むことなく毎日厳しい練習が続きました。授  
業が終わると、すぐ柔道部の練習です。それが終わると弁当を食  
べて、また国体強化選手の練習が始まります。国体の成年の部に出場  
する教員や県警機動隊の選手が関高校の柔道場に集まり一緒に練習  
をしました。

昭和40年10月24日、いよいよ国体が幕を開け、天皇・皇后両陛下

を県総合運動場陸上競技場にお迎えて開会式が盛大に挙行されま  
した。私も800人を超える岐阜県選手団の一員として入場行進をし  
ました。

私が出場した柔道競技(高校)は、5位入賞(ベスト8)を果たし、岐  
阜県としては、総合得点で第2位の東京都に大きく水をあげ、悲願  
の天皇杯・皇后杯を獲得することができました。

当時の私は、国体の柔道競技で勝つことだけを考えていたので、  
国体を契機とした様々な取り組みにはあまり気づきませんでした  
が、県教育史の編さんに携わる中で、国体を振り返りこれらのこと  
を知りました。国体では、天皇杯・皇后杯を獲得するほどの競技力  
向上の他、県総合運動場はじめスポーツ施設が整備され、県民のみ  
なさんがスポーツを始めるきっかけとなりました。また、国体に合  
わせて長良川に金華橋が架かり、国道21号バイパスをはじめ各地の  
道路網が整備されるなどインフラ整備も進みました。それにも増し  
て、国体は人々の心に大きな喜びと感動、自信と勇気を残してくれ  
ました。これも、岐阜県選手団の大活躍は勿論のこと、多くの子ど  
も達や婦人が開閉会式のマスコットに参加したり、多くのボラン  
ティアのみなさんが大会運営に関わったりと、当時の170万県民が  
一丸となって「一人一役」で国体を成功に導いたからだと思えます。

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」では、天皇杯・皇后杯を獲  
得することはもちろんですが、多くの方にその舞台に登っていただ  
き、国体を通じて県民のみ  
なさんがふるさとに誇りと自信  
を持ち、地域が元気で豊かに  
なる、そんな岐阜県の明るい  
未来につながる国体になるこ  
とを願っています。



前から3人目

ENJOYSPORTS ■ 国 体 運 動 会 場 内 外 各 種 目

ドッジビー

子供から大人までだれもが  
一緒に楽しめるスポーツ



ドッジビーは、フライングディスク種目  
のひとつで、9m×18mのコート(バレーボ  
ールと同じ大きさ)を使用して、1チーム13名  
のプレーヤーでウレタン製のソフトディス  
ク(270モデル)を使って行う競技です。

ゲームは、フリップによりディスクの所  
有権を決め、プレーヤーが各ポジションに  
ついた後、審判の合図によって始められ、  
ディスクを投げ合います。勝敗は、内野に  
人がいなくなるか、またはゲーム時間経過  
後にどちらのプレーヤーが多く内野に残っ  
ているかにより判断します。

ドッジビーのルールは、チームやプレイ  
ヤーがゲームをする上で安全かつ公平にプ  
レイできるように手助けをするためのもの  
で、楽しさを制限するものではありません。

ドッジビーは、愛知県が発祥の地で、現  
在、名古屋ドームで全国大会も開催されてい  
ます。昨年度の大会参加チームは、約100チ  
ームで台湾からの参加や障がい者のチームも

参加しています。小学校低学年の部では、  
多治見市のチームが4位と健闘しました。

最近では、岐阜県内でも、小学校やレクリ  
エーション指導者を中心にプレーする人が  
増えています。

ドッジビーの参加者が増えている理由は、  
当たっても痛くないことです。一度体験す  
ると恐怖感が消え楽しくゲームすることが  
できるためです。ディスクは、大きさが3  
種類あり体力差を感じることもなく子供か  
ら大人までだれもが一緒に楽しむことが  
できます。「みんなでドッジビー楽しもう！」



【問い合わせ先】  
多治見市レクリエーション協会(会長 岡島久治)  
TEL. 0572(25)0230

国体だより

ぎふ清流国体2012 vol.3 2008.7発行

第67回国民体育大会岐阜県準備委員会

〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県ぎふ清流国体推進局

TEL.058-272-8193(直通) 058-272-1111(内線2914・2915)

FAX.058-278-2604

URL.http://www.gifukokutai2012.jp/ E-mail.c11163@pref.gifu.lg.jp

【表紙の写真】

揖斐幼稚園(揖斐川町)の園児たちと一緒に登場した「ぎふ清  
流国体」マスコットキャラクター「ミナモ」(岐阜シティ・タ  
ワー43)



↑ケータイは  
こちらから

「国体だより」は、岐阜県からの  
補助金を受けて作成しています。